

佐藤 博 議員



三年半の市政運営を、市長はどう自己診断しているか

問

現在、1期目（19年2月から）3年半の市長の市政運営に対する自己診断について聞か。

市民本位の行政運営を心掛けた

答 市長

就任以来、市民と行政との協働によるまちづくり、透明な市政の実現、予算節約と有効活用を基本姿勢に掲げ、職員に対しては「市役所とは、市民のために役に立つ所である」との意識改革を旗印として、市民本位の行政運営を心掛けてきた。自己診断は自分ではできない。評価は市民にしてみらうべきと思っている。引き続き市民の協力を得て、

一つ一つの課題解決に全力を尽くすことが私の考えである。

市長が今後、力を入れる点は

問

市長は、今後の課題としてどのようなことをやるつもりとしているのか。どんな点に力を入れていくのか。

総合計画推進へ次期選挙に出馬

答 市長

港湾地域のコンテナターミナルの整備推進、企業誘致に積極的に取り組んでいきたい。限られた財源を最大限に

◀ 6月定例会で発言する服部市長（写真中央）



縄に学習研究視察ができないかを考えている。

総合計画は道半ばという事業が多いことも事実であり、次の4年間は極めて重要な時期である。ぜひ計画の実行に私も挑戦したい。

23年1月予定の市長選挙に出馬し、次の4年間、市民の期待に応えるべく全身全霊を傾ける覚悟である。

問

スポーツによるまちおこし、人づくりを、市民を挙げて取り組むことを検討してほしいがどうか。

答 市長

躍動する青少年がたくさ んいることは、まちづくりにも勇気を与えてくれるのではないかと思っている。意見として聞か。